

16 『郷土や文化を巡ろう(根室市)』ルート

1. 根室市内 (根室振興局前)

2. 市街地 歴史巡り

4.5km 5分

3. トーチカ群 1

9.8km 12分

4. 根室市歴史と自然の資料館 2

6.7km 8分

5. 和田屯田兵村被服庫 23

10.0km 12分

6. 慟哭の森美術館 (毎月第2日曜)

1.8km 2分

7. 根室市内 (根室振興局前)

根室 根室

根室市は、北海道ではとても古い歴史を持つ街のひとつですが、第二次世界大戦での空襲により市街地の約8割が消失してしまいました。わずかに残った建物や、史跡標柱などから当時を偲ぶことができます。時間があつたら「根室市歴史と自然の資料館」²にも是非足を運んでみてください。

7千情報

慟哭(どうこく)の森美術館
画家「茂木幹」(1904～1996)(画名「チヌカルコロ」)の私設美術館。
茂木幹は、明治37年群馬県前橋に生まれ、昭和4年根室に移り住み、文学と絵画の世界に情熱を注いだ。彼の油彩を中心とした作品のほか、親友であった作家「中沢茂」の作品を展示している。ちいさなアトリエだけれどゆっくり鑑賞できるのがいいよね。毎月第2日曜のみ、開館だから気をつけて。

根室市明治町2-67 9:00～17:00
TEL(0153)23-2329

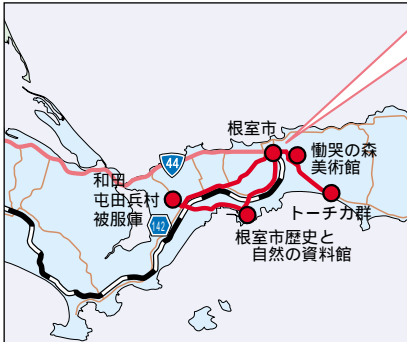
根室市街地 歴史めぐり
根室市内の歴史的建造物の跡に建つ史跡標柱は、全部で36ヶ所。建物はほとんど残っていませんが、ぐるり巡ると当時の根室の街が想像できるかも!?!当時の街の面影を残す数少ない史跡のひとつがこちら。本町埋立地の石畳

(本町3-10)

この石畳の上をかつて沢山の人が行き交ったのでしょうか。そっと手を置いてみると当時のにぎわいが聞こえてきそう...?



(本町埋立地の石畳)



7千情報 チャシ跡について

チャシ跡は、アイヌの人達の砦跡と言われており、道内に約400ヶ所ほどが確認されています。中でも根室市内には30ヶ所ものチャシ跡が確認されており、国の指定文化財にもなっています。また、その歴史的価値から平成18年2月、日本の百名城のひとつにも選ばれました。まだまだ未解明な部分の多い遺跡です。チャシについて詳しく知りたい方は、根室市歴史と自然の資料館²にお問い合わせください。



(チャシ跡(温根元))

和田屯田兵村被服庫

根室市西和田には、北海道遺産【屯田兵村と兵屋】の関連施設である和田屯田兵被服倉庫があります。屯田兵関係の建物では唯一の被服庫で、アメリカの西部開拓時代の建築様式で札幌の時計台と同様の形式で作られています。庫内には屯田兵が使用した生活用品が展示され、当時が偲べられます。

根室市西和田568-2
問合せTEL(0153)25-3661
(根室市歴史と自然の資料館)



(和田屯田兵村被服庫)

ねむろ一古いお寺『開法寺』

このお寺は、明治になって以降道東にできたお寺の中で、一番古いお寺なのだ! (建物は平成11年に改築。)境内の墓地の中には、めずらしいカニ供養の碑もあるよ。これは、昭和の初め、国後島や根室などの缶詰工場の人達が、生きているカニを茹でることに恐ろしさを感じて建立したのだそうです。カニを食った後はカニを食べてみては? (^-^)

根室市弥栄町1



(開法寺)

『清隆寺』のチシマザクラ

毎年5月中旬～下旬に花を付ける清隆寺のチシマザクラ。このチシマザクラは、国後島から持ち帰ったものを寄進され、以後代々大切に育てられてきたものです。道内にあるチシマザクラの多くがこの樹を源流としているそうですよ。また、本堂の建物は、彫刻以外は全て国産の木でできているそうです。素晴らしい彫刻も必見!

根室市松本町2



(清隆寺のチシマザクラ)